

島根県立三刀屋高等学校掛合分校

「重点目標に係る学校評価」(令和2年度末)			R1	R2 アンケート結果					自己評価		学校関係者評価		
			評点	評点	1年			3年		評価	結果分析(「」で示す)と改善の方向(「○」で示す)	評価	コメント
					2年	3年	4年	5年					
1	(1)身近な達成目標や節目の設定 (2)小さな達成の積み重ね (3)新課程を見据えた研究	教員	教育活動全体を通して、主体的に学ぼうとする意欲や粘り強く取り組む姿勢を育成することができたか。	2.7	2.7					2.8 (B)	○手をかける部分と自主性に任せる部分など、教職員の関わり方を考える必要がある。また、生徒が自分から学びたいと思う課題提示の仕方や工夫を考えていきたい。	A	・得意分野や興味関心があることには生徒は自主的に学ぶと思う。「やりたいことがあるからがんばろう」という気持ちが何より大事だということを生徒のことはから感じた。 ・生徒が先生方に頼りすぎている部分もあるのではないか。社会に出る生徒をどう育てるかが第2ステージ。生徒をお客にせず、自立と自律を育てる教育を目指すすよ。そのためにも、「自分でやるんだよ」という場面が必要。 ・学年が進むにつれて、生徒も保護者も評価が高くなっており、3年間の学習指導の成果だと思う。先生方が学習指導を充実させ、創意工夫をしながら授業を行っていることが大切で、十分に達成されているのではないかと。
		生徒	あなたは、学校生活を通して、自ら考え、自ら行動する意欲が高まりましたか。	2.8	2.8	2.9	2.8	2.8					
		保護者	お子さまは、学校生活を通して、自ら考え、自ら行動する意欲が高まりましたか。	3.0	2.9	2.7	2.9	3.0					
		教員	学習指導を充実させたか(授業の徹底・わかる授業・資格試験・授業時間の確保等)	3.2	3.3								
		生徒	あなたは、授業や学習を通して、以前よりも基礎学力がついた実感がありますか。	3.0	2.9	2.9	2.8	3.0					
		保護者	お子さまは、学習指導を通して、以前よりも基礎学力が高まりましたか。	2.9	2.8	2.7	2.6	3.1					
2	(1)掛版キャリア教育の推進 (2)地域と結びついた学び (3)異世代や他文化との交流	教員	上級学校・企業・関係諸機関との連携を密にし、望ましい職業観・勤労観の育成に努めたか。	3.3	3.2					3.2 (A)	○今年度は中止となったが、全校で行う進路学習を実施し、どの学年も進路学習の機会を確保したい。	A	・進路実績を見れば、学校のキャリア教育がうまく機能していることがわかる。インターンシップに来てくれた生徒がいるが、学校からきめ細かい指導がなされているのを感じた。 ・すべての項目において、学年があがるにつれて評価が高くなっており、学校の努力を感じる。 ・新型コロナウイルス感染症の影響があった中で、先生・生徒ともによくがんばったと思う。アンケート結果が低いのは、生徒の自己肯定感の低さや生徒・保護者お互いの自信のなさの表れてはいる。
		生徒	あなたは、体験的活動(農業体験・職場体験・地域学習)や進路ガイダンスを、自分の進路を考える際の参考にしていますか。	3.3	3.1	3.2	3.4	2.8					
		保護者	学校は、お子さまに進路についての適切できめ細かな指導を行っていますか。	3.0	3.2	3.0	3.1	3.3					
		教員	地域と結びついた学びを促進し、地域や社会に貢献しようとする意欲を育成できたか。	2.9	3.1								
		生徒	あなたは、地域活動や探究学習を通して、地域や社会に貢献しようとする意欲が高まりましたか。	2.6	2.8	2.8	2.8	2.8					
		保護者	お子さまは、地域活動や探究学習を通して、地域や社会に貢献しようとする意欲が高まりましたか。	2.8	2.9	2.8	2.8	3.1					
3	(1)「当たり前」の実践 (2)部活動や行事への参加 (3)体験学習、進路研究、面談	教員	遅刻防止やあいさつ、言葉遣いの指導など、生徒の基本的な生活習慣の確立のための有効な指導ができたか。	3.1	2.8					2.9 (B)	○引き続きコロナの状況を関係者間で協議しながら、できる範囲での実施を目指すとともに、今の状況でもできる新しい活動ややり方考え、生徒の自己有用感を高めていきたい。	B	・基本的な生活習慣の確立についての項目は、先生方の自己評価は低いですが、1年生から3年生へと学年が進むごとにだんだんとよくなっている。指導の成果だと思う。 ・あいさつは大きな声でできるが、人が見ていない部分ではどうか。町内の施設を借りた後のスリッパの整頓などには課題がある。社会人になった姿を追ってほしい。 ・SNSが当たり前のように日常生活の中に入り込み、自己管理が難しくなっているを感じる。ますます、小・中学校でどっぷり浸かった生徒が入学してくることが考えられるので、小・中学校との連携が必要になってくる。 ・スマートフォンを学びの道具として授業で使用してはどうか。遊びだけではなく、学習にも使えるということをどこで学ぶのかを考えたとき、そういった方向性もあるのではないかと。生徒が一人1台のパソコンを持って入学してくる日も近い。市内には、小・中学生がAIドリルやプログラミングなどを活用し効果が上がっているところもある。 ・アンケート結果を見ると、主語が「あなたは」「お子さまは」となっている質問に対しては評価が低く、「学校は」となっている質問に対しては評価は高い。学校に対する生徒・保護者の満足度の高さが伺える。
		生徒	あなたは、学校生活を通して、基本的な生活習慣(あいさつ、時間の厳守、言葉遣いなど)が身につきましたか。	2.9	2.9	2.6	2.8	3.1					
		保護者	お子さまは、学校生活を通して、基本的な生活習慣(あいさつ、時間の厳守、言葉遣いなど)が身につきましたか。	2.9	3.0	2.9	2.9	3.2					
		教員	教育活動全体を通して、心身ともに健康でたくましい生徒の育成に努めたか。	3.0	3.1								
		生徒	学校は、授業や学校行事・部活動を通して、心身ともに健康でたくましい生徒の育成に努めていますか。	3.0	2.9	3.0	2.8	3.0					
		保護者	学校は、授業や学校行事・部活動を通して、心身ともに健康でたくましい生徒の育成に努めていますか。	3.1	3.2	3.0	3.1	3.3					
4	(1)生徒理解と組織的な支援 (2)人権教育・道徳教育の推進 (3)教育環境・生活環境の整備	教員	特別支援教育や教育相談の観点から、教科指導・生徒指導、個別の支援の充実を図ることができたか。	3.3	3.5					2.8 (B)	○困っているときに相談しやすい雰囲気や信頼関係づくりに今後とも力を入れたい。また、特別支援教育や教育相談の観点からの、学習面・生活面の指導の充実を一層進めていきたい。	A	・人権教育を教育の一つの大きな柱として取り組んでいることが、ますますばらばらしい。先生方の評価結果を見ると、まだまだすべきことがあるのではと感じる。 ・人権教育に関する生徒・保護者の評価は高いが、先生方の目から見るとまだ不十分なのか。一部の生徒が気になると、つい先生方はそれを受けて評価をしがちだが、生徒が感じている評価結果が正しいのではと思う。 ・学んだ成果を表面に出していく力はほほほ、指導は淡々と情熱を持って行えばいい。 ・この学校だからこそできる人権教育がある。多様性やインクルーシブ教育など、大いに学ぶことができる学校だと感じる。他者を認めること、いろいろな背景の人たちと学んでいかなければならないことを、日々の学校生活の中で学び、自分の立ち位置を確認したり、達成の喜びを感じたりしているように思う。 ・卒業式で聞いた卒業生の答辞がすべて。信頼を持って学校で過ごしたことが伝わってきた。 ・コロナ禍での人権については、家庭でも話す機会があった。
		生徒	あなたは、悩みがある時、教職員(担任をはじめとする教員・養護教諭・図書館司書など)、スクールカウンセラー・教育相談員に相談ができていますか。	2.7	2.7	2.9	2.6	2.7					
		保護者	あなたは、お子さまの悩みや問題について、必要なときに教職員(スクールカウンセラーや教育相談員を含む)に相談ができていますか。	3.0	2.9	3.0	2.7	3.0					
		教員	教育活動全体を通して、生徒に「自他の人権を尊重しながら、思いやりのある人間関係を築いていく力」を育成できたか。	3.1	2.6								
		生徒	あなたは、学校生活を通して、自他を大切に、思いやりのある人間関係をつくる力が高まりましたか。	2.9	3.0	3.1	2.9	3.0					
		保護者	お子さまは、学校生活を通して、自他を大切に、思いやりのある人間関係をつくる力が高まりましたか。	2.9	3.1	3.0	3.1	3.1					
4	(1)生徒理解と組織的な支援 (2)人権教育・道徳教育の推進 (3)教育環境・生活環境の整備	教員	施設・設備の充実と保全、校舎内外の適切な環境整備がなされたか。	3.1	3.3					3.2 (A)	○来年度から本格的に校舎の長寿命化工事が始まるので、生徒の安全には最大限の注意を払っていきたい。		
		生徒	学校は、生徒の環境安全に配慮し、施設・設備の点検や保全を行っていますか。	2.9	3.0	2.9	2.9	3.0					
		保護者	学校は、学ぶ環境に配慮し、施設・設備の点検や保全、美化活動を行っていますか。		3.2	3.1	3.1	3.2					
		教員	あなたは、施設・設備の充実と保全、校舎内外の適切な環境整備がなされたか。	3.1	3.3								
		生徒	あなたは、施設・設備の充実と保全、校舎内外の適切な環境整備がなされたか。	2.9	3.0	2.9	2.9	3.0					
		保護者	学校は、施設・設備の充実と保全、校舎内外の適切な環境整備がなされたか。	2.9	3.0	2.9	2.9	3.0					

※アンケートは生徒61名、保護者51名、教職員11名
 ※アンケートは、4大いに思う 3:そう思う 2:あまり思わない 1:全く思わない の4段階評価
 0:わからない は評点に算入せず

S: 達成できている…………… 評点:4.0 ~3.5以上
 A: 概ね達成できている…………… 評点:3.5未満~3.0以上
 B: まだ達成できているとは言えない…………… 評点:3.0未満~2.5以上
 C: 達成できていない…………… 評点:2.5未満~1.0

※評価(評点)は、教員・生徒・保護者の評点の平均値。